

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和7年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和6年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
【施策1】家庭における子どもの読書活動の推進					
1	家庭・地域学びの課	おひでで絵本事業の推進・充実	・おひでで絵本事業実施状況 配付人数1,988人、配付率93.0%	・7～8か月児健康教室に参加できず、かつ市への連絡がない家庭に対して、事業の存在や読み聞かせの意義を周知していく。	・現在の取組を継続して実施する。
2	家庭・地域学びの課 市立図書館	ブックリストの作成・配布、ホームページ等での紹介	【家庭・地域学びの課】 ・7～8か月児健康教室において「お薦め絵本リスト」配布。 【長野図書館】 ・子ども向けおすすめの本紹介冊子配布。 R6.4月「すてきな大人になれる本」 10月「おしい本」 ・年齢別おすすめの本リスト配布。 (0～2歳、3～5歳、小学校低学年、中学年、高学年) 【南部図書館】 実施していない	【家庭・地域学びの課】 ・おひでで絵本事業で配付している絵本を含めたブックリストを作成し、絵本と一緒に配布、ホームページに掲載している。 【長野図書館】 ・春と秋の読書週間に合わせて、職員全員によるおすすめ本の冊子を作成し、館内で配布している。 ・年齢別おすすめの本やテーマ本などの貸出状況をホームページで確認できる形で紹介している。	・今後も子どもや子どもを取り巻く大人の興味をひくようなテーマを考え、継続して実施する。
3	家庭・地域学びの課	長野市家庭の日における読書の奨励	・「長野市家庭の日」(毎月第3日曜日)と、その直前の金曜日に、有線放送による啓発を実施。家族みんなが読書に親しみ、読後の感想などを話題にするよう勧めた。	・有線放送に加入していない家庭が多く、全体として浸透不足となっている。	・有線放送だけでなく、11月に開催する青少年健全育成フェスバルを通して、長野市家庭の日の児童や保護者に対して読書の奨励に努めていく。また、家庭教育講座にて、絵本の読み聞かせの推奨をしていく。
4	家庭・地域学びの課 健康課	出生届出の際に配布する「赤ちゃんのしおり」に家庭における読書の勧めを掲載	・全ての出生児の保護者へ配布	・親子読書の勧め掲載内容を協議調整している。 ・絵本引換券の裏面に親子読書の勧めを掲載しているため、全ての保護者が情報を享受できる環境が整えられている。	・今後も引き続き、親子読書の勧めを掲載し、読書活動の啓発を図る。
5	家庭・地域学びの課	五感を通して書籍に親しむイベント等の開催	・親子わくわくフェスタ内で読書推薦イベントを企画・実施した。	・言葉と身体を使い表現活動を通して絵本の世界を楽しむ「みんなで遊ぼう！絵本の世界」を実施した。	・毎年企画を考えイベントの実施を継続する。
6	家庭・地域学びの課 健康課	健康教室での読み聞かせの実施や絵本の紹介	・7～8か月児健康教室で絵本の見本やPOPの展示により、絵本を紹介している。	・健康教室会場で実施していたボランティアによる絵本の読み聞かせは、諸事情により令和6年度は見送り、代わりに事業のフォローアップの場として、市立図書館で開催している「おはなし会」を案内するなど運用を変更している。 ・絵本の見本展示のほかにも、配布絵本を選ぶ際の参考にしていただくために、4種類のPOPを展示するなどして工夫し実施している。	・今後も引き続き取組を実施し、絵本を配付するだけでなく本の楽しさや読書の重要性を伝えるため方法を検討していく。
7	家庭・地域学びの課 健康課	母子健康手帳交付時において、妊産婦や保護者へ子どもの読書活動を推進するためのパンフレット等を配布	・母子健康手帳の交付対象者全員へ配布	・母子健康手帳交付時に配布するチラシが多数あるため、より訴求効果が高い方法を検討する必要がある。	・引き続き母子健康手帳交付時のパンフレット配布を実施するとともに、より効果的な啓発方法を検討する。
【施策2】教育・保育施設等における子どもの読書活動の推進					
8	保育・幼稚園課	保育士・幼稚園教諭等職員及びボランティアによる読み聞かせの実施	・職員による読み聞かせは、子どもの発達年齢や季節・行事に合わせてほぼ毎日行った。 ・ボランティアによる読み聞かせは、各園の状況に応じて年数回実施。	・ボランティアによる読み聞かせは、園により頻度のばらつきがある。	・絵本の読み聞かせは、継続する。 ・ボランティアによる読み聞かせ実施園は、引き続き継続をしていく。 未実施園は、希望はあるが環境が整わない(近くにボランティアがいらない)という課題もある。地域と連携し活用を勧めていく。
9	保育・幼稚園課	園児や未就園児への図書の貸出し	・園児に対して、週1回程度の貸し出しを実施した。 ・未就園児に対して、絵本の貸し出しを実施している園は少ない。	・未就園児に対する絵本貸し出しについては、実施園が少ない。 地域子育て支援センターと併設園は、貸し出しを実施しているところがある。園開放(おひさま広場等)で貸し出しを呼びかけたが、参加者が少なく計画に至らなかった園もある。	・園児に対する絵本貸し出しは、継続する。 未就園児に対しては、園開放等で絵本の読み聞かせを取り入れ絵本の紹介をしていく。
10	保育・幼稚園課 市立図書館	園だより等での読書に関する情報提供	【保育・幼稚園課】 ・園だより、クラスだより、絵本だより等で読書に関する情報提供を行った。 【長野図書館】 ・園だより等での読書に関する情報提供 ・長野図書館子ども読書ニュース「ふれあい」と南部図書館こどもいっしょ「おひさま」のデータを毎月保育・幼稚園課に配信。 【南部図書館】 実施していない	【保育・幼稚園課】 ・未実施の園がある。 【長野図書館】 ・毎月のテーマ、読み聞かせ行事、新聞児童図書等の情報を掲載した児童向け館報を毎月1回作成、発行し、ホームページにも掲載している。 ・保育・幼稚園課を通じて市内の保育園、幼稚園にも配信し、読書活動啓発事業の推進を図っている。	【保育・幼稚園課】 ・親子で絵本が楽しめるように、園だより等や園内に「おすすめ図書」を掲示をする等、保護者に読書に関する情報提供を行う。 【長野図書館】 ・現在の取り組みを継続して実施する。 ・民間の幼稚園、子育て支援センター、NPO等、子どもに関する民間機関や団体と連携し、頒布先の拡大を検討する。
11	保育・幼稚園課	職員への読み聞かせ等の研修の実施	・各園で年1回程度で研修を実施。	・絵本研修会に出席した職員による園内研修を実施した園もある。研修会には、保育担当の職員がいるので、全職員の出席は困難である。	・読み聞かせや絵本の大切さを学び、職員自身が絵本の楽しさを理解して読み聞かせできるように、継続して各園で読み聞かせ等の研修を行う。
12	保育・幼稚園課 市立図書館	市立図書館団体貸出の周知と利用促進	【保育・幼稚園課】 ・園内の掲示板等に市立図書館だよりを掲示し保護者に見てもらえるようにしている。 【長野図書館】 ・保育園・幼稚園向けに専用の団体図書を購入し、団体貸出を行っている。 団体図書購入冊数:285冊 団体図書貸出冊数:4,224冊 【南部図書館】 ・近隣保育園等へ本の貸出	【保育・幼稚園課】 ・地域により支所の図書コーナーの貸し出し利用をしている園もある。 ・図書館が近隣にないため、利用の難しさがある。団体利用でなく、個人的に利用している。 【長野図書館】 ・市内園、幼稚園専用の絵本と紙芝居(団体図書冊数:8,605冊)を100冊以内2か月間貸出している。 【南部図書館】 ・中央保育園年長組園児来館し、定期的に本の貸出を実施している。	【保育・幼稚園課】 ・地域の状況に応じて、貸し出し利用を促進していく。引き続き図書館だよりの掲示をしていく。 【長野図書館】 ・一部の保育園、幼稚園に利用が限られているため、更なる周知に努める。 【南部図書館】 ・今後も継続して定期的に、本の貸出を実施する。
13	保育・幼稚園課	こども広場・地域子育て支援センターでの読み聞かせ会の実施や絵本等の紹介・貸出し	こども広場では、月1回、地域子育て支援センターでは、年1～5回講師による読み聞かせ会を実施。年間を通して絵本の貸し出し、職員等が読み聞かせや紹介、絵本閲覧コーナーを設置。	・読み聞かせ会は好評で、親子参加が大勢見られる。 ・絵本貸し出し利用もあり、絵本に親しむ姿が見られる。	・親子で親しむ機会を積極的に設けていく。
14	保育・幼稚園課	図書の購入と絵本コーナーの充実	・破損本の修理を行った。破損度合いの激しい本の買い替えや新刊本の購入を行った。	・予算は限られているが、子どもの年齢や興味に合わせて購入している。	・限られた予算を有効活用していく。 ・子どもが絵本に興味を持てるようなコーナー作りをしていく。
【施策3】学校等における子どもの読書活動の推進					
15	小中学校 市立長野高校	全校一斉読書の実施	小学校 100% 中学校 95.7% 毎日 14校 週2～4回 18校 週1回 27校 読書旬間中 13校 なし 1校 不明 2校	・普段読書をすることが少ない生徒もこの時間は集中して読むことができていく。 ・毎日の習慣として読書することが身についている。 ・本に親しみを持つことができ、読書の習慣づけに役立っている。 ・朝読書のお陰で図書館を利用してくれる生徒が多い。 ・週1回だとなかなか読書の習慣づけにならない。 ・一斉読書がなくなることによって、本を読む生徒が格段に減った	・この時間が唯一の読書の機会である生徒も多いので、読書の時間の質を高めれるような活動を行っていく。 ・発達段階に応じた様々なジャンルの書籍を紹介し、読書内容の向上を目指していく。 ・読書推進に向けて各学級の実態を共有し、落ち着いて読書をする時間の確保を継続していく
16	小中学校 市立長野高校	読書週間・読書旬間の設定	小学校 96.2% 中学校 100% 年1回 36校 年2回 36校 年3回以上 0校 なし 2校 不明 1校	・図書委員会を中心に、読み聞かせ、しおりコンテスト、ビンゴなどを実施。 ・様々な本に触れる機会となっている。 ・先生方のおすすめの本の紹介等、新たな分野の本に関心を持つ子が増えた。 ・子ども参加型のイベントをいくつか企画し、読書の楽しさを感じられるようにした。 ・読書旬間やイベントがあると来館者も増加するが、高学年の来館が伸び悩むのが課題。	・外部団体や色々な体験ができるようにし、高学年の児童にも魅力のある企画を計画する。 ・すべての児童が読書の幅を広げられるような企画を計画する。 ・貸出冊数の増加だけを目的とせず、内容の向上や新分野へのチャレンジに繋がる取り組みをしていきたい。 ・読書が好きな児童や図書館の利用者が増えるように楽しめる活動を計画していく。
17	小中学校 市立長野高校	学校図書館の授業での活用の推進	小学校 100% 中学校 100% 週1回 39校 週2～3回 1校 随時 7校 必要に応じて 27校 不明 1校	・週に1時間クラスで図書館を利用する時間を設け、その時間に読書や調べ学習をしている。 ・司書や担任による読み聞かせや、調べ学習で使用している。 ・学習センターとしての利用ができるよう、資料の充実が必要。 ・高学年は授業時間数の関係で、ゆとりをもって利用できる機会が少ない。 ・調べ学習がタブレットで調べることが多く、図書館利用が少なくなっている。	・年間指導計画を参考にしながら担任の先生とも相談し、活用できそうな単元については積極的な情報を共有に努めていく。 ・読書の授業では、発達段階に応じた書籍を紹介し、読書内容の向上を目指していく。 ・図書館の活用事例を紹介やオンライン・資料と組み合わせた調べ学習の企画し、授業で活用しやすい図書館環境にしていける。 ・書籍による調べ学習の利点等を発信し、教科学習の内容や進度に配慮した書籍を紹介し活用推進を図っていく。
18	学校教育課 小中学校	学校図書館の図書資料の充実	小学校 98.1% 中学校 95.5% 学校図書館の図書資料の充実	・児童の要望を取り入れつつ、教科書に掲載された本を優先的に購入するなど授業関連の資料の充実を心がけている。 ・蔵書の内容が古くなっていないかの精査を行い、蔵書の入れ替えと保全のバランスを心がけている。 ・巡回図書展示、児童や先生方へのアンケート等を活用するなど図書選定の機会の充実を図っている。	・子どもたちや職員からの要望と情報センターとしての図書館の役割とのバランスをみながら本を購入していく。 ・先生方と連絡を取り合い、校内のニーズに沿った図書資料の充実を図る。 ・自校の図書でまかなえないことが多いため、他校や市立図書館との連携を強化していきたい。
19	学校教育課 小中学校	推薦図書リストの周知や活用	小学校 100% 中学校 90.9%	・推薦図書リストを参考に購入している。 ・推薦図書や新着図書とともに紹介するコーナーを設置、推薦図書リストを図書館内や図書館前の廊下に掲示している。	・推薦図書リストを参考にした本の購入、紹介を継続していく。 ・推薦図書コーナーを設置し、幅広いジャンルの本に触れあえる機会を作っていく。 ・図書館だよりに推薦図書リストを載せることを検討していく。
20	小中学校 学校教育課 市立図書館	市立図書館や県立図書館等の利用・連携	【学校教育課】 ・本の購入する際の参考になっている。 ・教科書学習で依頼があった時など、そのニーズに合わせて団体貸し出しを活用している。他校でも同時期に学習が重なることが多く、資料が見つからないことがある。 ・自校にない資料を市立図書館の団体貸し出しで借りている。 【長野図書館】 ・小学校への団体貸出、図書の置き置き及び山間地学校への市連絡車を活用した図書の貸出を実施している。	【学校教育課】 ・公共図書館の情報を参考に読書活動・イベント等を企画したい。 ・調べ学習などは、計画的に授業と連携し、必要に応じて利用していきたい。 ・学校司書と公立図書館担当者との定期的な情報交換、情報共有を図る。 【長野図書館】 ・一部の学校に利用が限られているため、更なる周知に努める。	
21	教育委員会総務課	校舎改修事業等に伴う学校図書館の整備・充実	・R6長寿命化改修工事(図書室含む) 小学校2校	・学校施設の長寿命化改修に伴って図書室を改修しているが、予算確保等に課題があり、計画どおりに改修を進めることができていない	・引き続き学校施設の長寿命化改修に伴って整備を進める
22	学校教育課	学校図書館の情報化の推進	・県立学校図書館職員・市立図書館職員と情報センター、学習センターの役割・在り方について検討	・引き続き学校図書館システムの運用、学校間相互貸出しの蔵書検索や図書についての情報共有手段としてシステムの活用を進めていく。	・レファレンスの充実や児童生徒のニーズの把握のため、継続してシステムの活用を図っていく。
23	学校教育課	校内読書コーナー等の設置の検討	小学校 90.5% 中学校 78.6%	・季節や行事に合わせて毎月テーマを決めて掲示した。新聞などの掲示も校内で進めている。 ・図書館前の廊下に、図書委員や教員による推薦図書の紹介カードを掲示した。	・次年度以降も公立図書館との連携や学校司書の資質向上を図っていく。

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和7年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和6年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
24	学校教育課	学校図書館の運営に携わる職員の研修機会の充実	・市主催研修会 年3回開催 ・支会別研修会 各年2～3回開催	・学校図書館司書としての役割や実務の理解、資質向上などを目的とした研修会の実施。 ・市主催（教育センター含む）の研修会開催（年3回） ・各支会研修会やワーキンググループの開催（年2～3回）	・次年度以降も公立図書館との連携や学校司書の資質向上を図っていく。
25	小中学校 学校教育課	家庭での読書推進の呼び掛け	小学校 94.2% 中学校 68.2%	・図書館だよりにてイベント等情報を発信している。 ・PTA新聞で学校図書館を紹介してもらった。 ・読書旬間では親子カードを配布し、子どもと一緒に親しんでもらっている。 ・長期休業前には貸出数を増やなるべく読書推進している。 ・参観日には保護者向けの貸出しを実施。	・保護者に対して図書館だよりを通して家庭での読書推進の呼びかけを行っている。 ・保護者に対して、子どもたちの読書の様子を伝えていきたい。 ・今後も長期休み前の特別貸出しや、春と秋の読書旬間を利用し、読書週間が身につくようなイベントなどを企画していく。
26	小中学校 学校教育課	ボランティアやPTAによる読み聞かせ・ブックトークの実施	小学校 94.2% 中学校 45.5%	・読書旬間にPTAによる読み聞かせを実施している。 ・全クラスを対象に実施し、クラスの状況に合わせた本を読んでもらっている	・地域のお話ボランティアグループに協力をお願いするとともに、保護者の読み聞かせボランティアの活動を促進する。 ・読んでもらった本を自分で読めることが出来るように、紹介コーナーを作る
27	小中学校 学校教育課	ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置	小学校 92.3% 中学校 95.5%	・ふるさとの民話、地元の歴史、産業、偉人の資料などの郷土コーナーの設置。 ・時事ニュースに合わせたコーナーづくり（国際理解、オリンピック・パラリンピック等のスポーツ関連など） ・給食の献立や長期休みの宿題に合わせて世界各国の文化等の記載がある本を並べた特設コーナーを作った ・郷土資料は子ども向けのものが少ない。	・世界の文化のコーナーのために資料の充実をはかっていきたい。 ・ふるさとに興味をもってもらうために、読みやすい利用の収集を心掛けたい ・県内各地のパンフレットなどを集め、児童が手に取りやすいものを工夫したい。 ・行事等に合わせて郷土や世界各国の文化についての資料を展示するコーナーを設けた。
28	小中学校 学校教育課	特別な支援を必要とする子どもが利用しやすい学校図書館づくり	小学校 86.5% 中学校 72.7%	・支援を必要とする子どもたちが安心して過ごせる雰囲気を意識して作っている。 ・わかりやすいレイアウト、表示を工夫し誰でも親しみやすい図書館作りをし、借り方を簡素化した。 ・個々の状況に合わせて、貸出や読書ができるよう対応している。 ・特別支援教室の時間を確保し、利用やすとした。 ・LLブック等の資料やリーディングトラッカーの購入	・レイアウトや見やすい展示になっているかどうか配慮しながら見直し、誰もが使いやすい図書館を目指していく。 ・児童の特性により理解しながら、よりリラックスして集中できるようなスペースと、わかりやすい図書館作りをする。 ・担任やPTAと合わせ、情報交換を行い、子どもたちの様子を把握し、視覚支援や興味くようなポップの工夫をしていきたい。 ・児童が司書に気軽に相談できる関係を築くとともに、掲示物等も工夫していく。
29	小中学校 学校教育課	特別な支援を必要とする子どもを対象とした学校図書館の利用促進	小学校 84.6% 中学校 86.4%	・個々に応じた選書のアドバイスを行い、児童に合わせて臨機応変に貸し出しや図書館利用を行っている。 ・児童の様子に合わせて、ゆっくり本を選んで、返却・貸出などを行っている。	・集団が苦手な児童には、時間に配慮しつつ図書館利用ができるように柔軟に対応していく。
30	小中学校 学校教育課	特別な支援を必要とする子どもの特性に応じた読書媒体の紹介や利用支援	小学校 67.3% 中学校 77.3%	・リーディングトラッカーやリーディングループの設置と活用推進 ・子どもが興味のあるような本を購入したり、市立図書館の団体貸し出しを利用している。 ・適当な文字数や興味関心のありそうな本と一緒に選んで、隣で読んであげるようにしている。 ・様々な児童に対応できるような資料をそろえるようにしている。 ・大型本、点字本などのコーナーを設置し、利用しやすとした。 ・様々な児童に対応できる資料が不足しているため、そろえる必要がある。 ・特別な支援を必要とする子どもたちの利用の様子や実施・要望をまだ細かく把握できていない。	・実態をふまえ、必要な環境を職員で検討していく。 ・児童の特性に合った本を市立図書館から借りることも視野に入れていく。 ・特性に合わせて、どんな本なら自分で読めるか連携しながら、本を紹介していきたい。 ・拡大教科書や点字の本などの導入を検討していく。 ・読書補助具（リーディングループ等）の導入等、児童生徒に対応したツールを検討し、更なる利用支援に努めたい。 ・特別な支援を必要とする子どもの特性に応じた読書媒体の紹介や利用支援をさらに考えていく。
31	小中学校 学校教育課	司書および司書教諭を対象とした図書館における障害者サービスに関する内容理解や支援方法の習得に関する研修の実施	・市主催研修会 年3回開催 ・支会別研修会 各年2～3回開催	・学校図書館司書、司書教諭としての役割や実務、資質向上に関することを目的とした研修会の実施 ・市主催（教育センター含む）の研修会を開催（年3回） ・各支会やワーキンググループの開催（年2～3回）	・研修を充実させながら、特別な支援を必要とする子どもたちの読書環境の向上を図っていく。
32	こども政策課	ボランティアによる読み聞かせの実施	・アドバイザー活動延べ人数：1,260人 ・参加延べ児童数：22,330人	・多くの施設で読書開かせのできるアドバイザーを活用している。	・読み聞かせのできるアドバイザーの活用と周知に努める。
33	こども政策課	推薦図書等の周知と図書の実施	・こども家庭庁からの推薦図書等の周知：1回	・こども家庭庁からの推薦図書等を各施設の実業者に周知している。	・推薦図書等については、国の審議会等で審査されたものであるため、積極的な周知に努める。
【施策4】市立図書館等における子どもの読書活動の推進					
34	市立図書館	子ども向け行事の実施及び保護者への啓発	【長野図書館】 ・おはなし会：142回、参加者2,794人 ・お楽しみ会等：6回、参加者601人 ・親子で楽しむ映画会：2回、参加者145人 ・「親子わくわくフェスタ」に出展：参加者254人 【南部図書館】 ・おはなし会：47回、親子660人 ・お楽しみ会：3回、親子396人 ・「親子わくわくフェスタ」に出展：参加者254人	【長野図書館】 ・年間を通して、読み聞かせを中心とした子どもに読書の楽しさを伝える各種行事を開催し、保護者への啓発も併せて実施している。 ・「おはなし会カード」を作成してリーダーを増やしている。 ・図書館外のイベント「親子わくわくフェスタ」では、簡単な工作等も行い、大勢の参加者が集まり、図書館のPRができた。 ・長野図書館初のイベント「真夏のこわーいおはなし会」を開催した。 ・予想以上の反響があり、普段図書館を利用していない方も多く集まった。 【南部図書館】 ・読み聞かせを中心に、年間を通じて子どもに読書の楽しさを伝える各種行事を開催している。 ・広報ながの・生涯学習だより・子ども情報誌「ホリデー」・子育てガイドブック・信毎等各種メディアにおいて図書館で実施されている子ども向け行事を紹介し、保護者への啓発もあわせて実施している。 ・図書館まつりで、近隣の小学校から提出された読書感想文を展示している。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 【南部図書館】 ・今後も事業を継続する。 ・現在の取組を図るため、ホームページ、広報紙以外にも、SNSなどの各種メディアを活用したイベント開催情報の発信の拡大を検討する。 ・参加者が少ないおはなし会の開催時間や、対象年齢おはなし会の開催を検討する。
35	市立図書館	ブックリストの作成・配布、ホームページ等での紹介	【長野図書館】 ・事業番号2に同じ。 【南部図書館】 ・児童書の「おすすめの本」リスト配布：250部	【長野図書館】 ・事業番号2に同じ。 【南部図書館】 ・夏休みに楽しむ児童書という観点からリストを作成・配布している。 ・学齢別（0～3歳、幼児、小学校低学年、小学校高学年）の「なんぶどしよかん」おすすめ本リストも作成し図書館内に掲示・配布をしている。 ・リストのホームページなどでの配信はしていない。	【長野図書館】 ・事業番号2に同じ。 【南部図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 ・アンケートの見直しを行いながら、引き続きおすすめ本リストを作成し、館内掲示・配布する。 ・ホームページにも掲載し、貸出状況なども確認できるようにする。
36	市立図書館	児童向け図書館だより（こども読書ニュース「ふれあい」・こどもかいだより「おひさま」）の発行・ホームページへの掲載	【長野図書館】 ・長野図書館こども読書ニュース「ふれあい」毎月発行 【南部図書館】 ・こどもかいだより「おひさま」毎月550部発行、ホームページ掲載	【長野図書館】 ・館内配布。 ・保育・幼稚園課を通じて、市内の保育園、幼稚園に配信。 ・ホームページ掲載。 【南部図書館】 ・毎月、こどもかいだより「おひさま」を発行。月ごとのテーマ本や新刊本リスト等を発信し、子どもの読書活動の啓発を推進している。 ・「おひさま」は、本館窓口、分室、移動図書館、長野市南部の保育園、小学校等には直接配布（紙媒体（チラシ）し）、ホームページにも掲載している。	【長野図書館】 ・事業番号10に同じ。 【南部図書館】 ・現在の取組を継続して実施する。 ・民間の幼稚園・子育て支援センター、NPOなど、子どもに関する民間機関・団体と連携し、須布先の拡大を検討する。
37	市立図書館	移動図書館における児童書の充実と貸出し	・移動図書館 児童書貸出冊数：29,623冊	・市内全域（92ステーション）をおよそ2週間おきに巡回している。 ・より効果的な利用を図るため、巡回ステーションごとの貸出冊数、利用者数に基づき、図書館本館及び分室の利用圏域の補完及び巡回のルート設定を考慮し、巡回ステーション・コース・時間の見直しを実施している。 ・新たに購入した本のリストについて、車に提示している。 ・少子化や商観の就労等により、児童書の貸出冊数は減少傾向にある。	・今後も事業を継続する。 ・より効果的な利用を図るため、巡回ステーション・コース・時間の見直しを図る。 ・立寄った中山間地の支所、公民館等で読み聞かせを行う等、移動図書館がさらに有効活用されるよう検討する。 ・移動図書館でも「おすすめ本リスト」を配布し、車にない本については予約を受け付ける。
38	市立図書館	児童書コーナー「お話し部屋」・「親子コーナー」の整備・充実	【長野図書館】 ・1階に靴を脱いで自由に利用できるスペースを設置し、子どもと保護者が読書や読み聞かせを行う場所としている。 【南部図書館】 ・「親子コーナー」の一部に、子どもが靴を脱いで利用できるスペースを設置している。子どもと保護者が自由に絵本や紙芝居などの読み聞かせを行う場所、ボランティアによるおはなし会の場所として活用している。 児童書蔵書数：117,911冊	【長野図書館】 ・平日のおはなし会は1階「お話し部屋」で行うが、参加者の多い土・日は3階会議室で実施している。 ・施設の構造上、子ども向けスペースを現状から変えることは難しいため、居心地のよい空間や雰囲気づくりに努めている。 【南部図書館】 ・児童向けの図書の寄贈を受け、これまで購入できなかった歴史マンガなどを中心に特設コーナーを設けることができた。 児童・幼児が本を手に取りやすいよう書架の配置を見直した。	【長野・南部図書館】 ・現在の取り組みを継続して実施する。
39	市立図書館	青少年向けの図書を集めたコーナーの整備・充実	【長野図書館】 ・青少年向けの図書を集めた常設コーナーを設置し、図書の購入をしている。 ・年に数回、青少年向けのテーマを決め、本を集めて紹介するコーナーを館内に設置。 ・テーマ本のリストをホームページに掲載。 【南部図書館】 ・ヤングアダルトコーナー（青少年図書コーナー）を設置している。	【長野図書館】 ・書架の低い書架に青少年向けであることが一目でわかるよう黄色のラベルを貼付した図書を設置。 【南部図書館】 ・青少年向けであることが一目で分かるよう黄色のラベルを背表紙に貼付。 青少年向けの図書コーナーを設けている。	【長野図書館】 ・書架を増設し、より一層の青少年向け図書の充実を図る。 【南部図書館】 ・青少年向けコーナーの資料の充実を図る。 ・推薦図書やホームページで紹介するなど、広報紙及びインターネット等による広報・周知活動を実施する。
40	市立図書館	中学生・高校生による読み聞かせボランティア・職場体験の実施	【長野図書館】密№92に同じ ・職場体験の受入：中学校4校7人、高校2校2人、小学校教員1校1人	【長野図書館】 ・図書館をより身近に感じてもらえるように、中学生、高校生の職場体験を希望に応じて積極的に受け入れている。 【南部図書館】 ・図書館をより身近に感じてもらえるように、中高生等の希望に応じて積極的に受け入れている。	【長野図書館】 ・中学校、高校と連携し、現在の取組を継続して実施する。 【南部図書館】 ・周辺の中学校・高等学校を中心に現在の取組を継続して実施する
41	市立図書館	家庭での読書推進の呼び掛け	【長野図書館】 ・事業番号34に同じ。 ・毎月のテーマ本の見直しを行い、絵本のみの紹介だったものを、物語や実用書も含めるよう範囲を広げた。（RS～） 【南部図書館】 実施していない	【長野図書館】 ・事業番号34に同じ。 ・家庭で読む本を保護者と子どもが選びやすいよう、毎月のテーマ本を見直し、図書館の入口近くにコーナーを設置している。また、「おはなし会」で読んだ絵本を児童コーナーに並び、貸出をして家で読めるようにしている。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和7年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和6年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
42	市立図書館	保護者と子どもが読書に親しむ 機会の提供	【長野図書館】 ・事業番号41に同じ。 【南部図書館】 ・年齢層に合わせたおはなし会を実施。 「赤ちゃんとのおはなし会」では看護師による ベビーマッサージや子育て相談等も併せ行っ ている。	【長野図書館】 ・事業番号41に同じ。 【南部図書館】 ・子どもの集中力が持続する時間はとても短いため、「おはなし会」や 「子ども会」では、短い時間で演者を変えたり、異なる分野のおはなしを いくつかするなど、子どもが飽きないよう工夫を凝らし実施している。	【長野図書館】 ・事業番号41に同じ。 【南部図書館】 ・今後も事業を継続する。
43	市立図書館	障害者ライブラリー（点字図書・録音 図書の収集・製作・貸出し）の充実	【長野図書館】 ・貸出数：点字図書843タイトル 録音図書2,710タイトル 計3,553タイトル ・利用者数：点字図書693人 録音図書773人 計1,466人 【南部図書館】 実施していない	【長野図書館】 ・貸出数・貸出利用者数ともに減少傾向にある。	【長野図書館】 ・障害者ライブラリーの存在を知らない利用者がいると予想できる。障害者 ライブラリーのサービスを十分周知・啓発し、利用者等の底上げを図る。
44	市立図書館	アクセシブルな図書等の導入	【長野図書館】 ・令和5年7月から、デジとしよ信州の新サービス である「アクセシブルライブラリー」を開始した。 利用登録者数13人。 【南部図書館】 実施していない	【長野図書館】 ・スマートフォンやタブレット端末を所有していないと活用できないサービス である。スマホ世代に対して利用を呼び掛ける必要がある。	【長野図書館】 ・視覚障害者に特化したサービスである「アクセシブルライブラリー」の利用 登録を継続して呼び掛ける。 ・「デジとしよ信州」の全体会議等で情報及び課題を共有し、利便性の高い サービスを追求していく。
45	市立図書館	特別な支援を必要とする子どもを 対象とした市立図書館の利用促進	【長野図書館】 ・団体貸出利用図書：8,605冊 ・貸出 21施設 7,302冊 【南部図書館】 ・団体貸出実績：2,316冊	【長野図書館】 ・保育園、幼稚園をはじめ放課後デイサービス施設等にも団体貸出を行っ ている。 【南部図書館】 ・保育園・幼稚園・小中学校をはじめ障害者施設等にも団体貸出を行っ ている。	【長野・南部図書館】 ・今後も事業を継続する。
46	市立図書館	特別な支援を必要とする子どもを 対象としたアクセシブルな図書等の 利用支援	【長野図書館】 ・LLブック 所蔵57冊 ・点字絵本 所蔵47冊 【南部図書館】 ・本館児童コーナーに「りんごの棚(LLブック)」 の設置。また、各種団体貸出に対応している。 ・特別支援学級等で使用できる、LLブックの お薦め本リストを作成した。	【長野図書館】 ・障害者は人によって様々であり、同じ障害でも支援の仕方が異なる場合が ある。支援が必要な子どもに対して個々にアプローチし、必要な環境を 整えていく必要がある。 【長野図書館】 ・障害者は人によって様々であり、同じ障害でも支援の仕方が異なる場合が ある。支援が必要な子どもに対して個々にアプローチし、必要な環境を 整えていく必要がある。	【長野図書館】 ・今後もアクセシブルな図書等の受入を継続していく。 【南部図書館】 ・今後も柔軟な対応を継続していく。
47	市立図書館	国立国会図書館およびサビエ 図書館サービスの周知や利用促進	【長野図書館】 サビエ図書館利用数(延べ) ・点字図書 691人、841タイトル ・録音図書 576人、2,229タイトル 【南部図書館】 実施していない	【長野図書館】 ・国立国会図書館を含めサビエ図書館の利用はかき進んでいるが、 子どもの利用は少ない。	【長野図書館】 ・現状のとおり、サビエ図書館を有効に活用し、利用者の希望する図書を 迅速に提供していく。また、子ども、学校、施設、保護者への情報提供を 図っていく。
48	市立図書館	特別な支援を必要とする子どもが 利用しやすい図書の製作に係る 基準の作成及び環境の整備	未整備	【長野図書館】 ・支援を必要とする子どものニーズが幅広いため、国や県において、指針を 示してもらう必要がある。	【長野図書館】 ・他の先進図書館などの情報を収集していく。
49	市立図書館	特別な支援を必要とする子どもの 特性に応じた読書媒体の紹介や 利用支援	・「あつ太君」や「ホームページの蔵書検索」で 「点字図書」「LLブック」等のワードを入力する ことで検索できるようにし、貸出状況も確認 できるようにしている。	【長野図書館】 ・子どもの特性に応じた読書媒体の把握が必要。	・様々な読書媒体や活用例について情報を収集していく。
50	市立図書館	点字図書・録音図書製作ボラン ティアの人材育成及び質向上	【長野図書館】 ・点訳ボランティア研修を行った。計5回に渡り、 上田点字図書館の職員から講義を受けた。 かなりのスキルアップが図れたと考える。 【南部図書館】 実施していない	【長野図書館】 ・音訳ボランティア研修を実施する。	【長野図書館】 ・5カ年研修計画に基づき研修を進めていく。
51	市立図書館	図書館における障害者サービスに関 する内容理解や支援方法の習得に 関する研修の実施及び広報活動の 充実	【長野図書館】 ・障害者ライブラリー職員全員が、「障害者 サービス担当職員養成講座」「特別研修 読書 のバリアフリーをすすめるために」「令和6年度 サビエ研修」ほかをアーカイブ配信により受講 した。 【南部図書館】 実施していない	【長野図書館】 ・障害者の読書に対する細やかなニーズをどう適切に把握するか、方法 を探っていく。	【長野図書館】 ・様々な研修を受講し、スキルやノウハウを強化する中で、障害者に対する サービスの一層の向上を図る。
52	市立図書館	各種研修への積極的な参加	【長野図書館】 ・図書館司書等の外部研修への参加：13回、 延べ37人 ・当館主催研修への参加：14回 延べ60人 【南部図書館】 ・図書館司書の外部研修への参加：12回 延べ26人	【長野・南部図書館】 ・図書館司書がさらに専門的知識を得ることができるよう、県立図書館、 長野県図書館協会、北信公共図書館連絡協議会などが主催する研修に 積極的に参加した。	・引き続き外部の各種研修会へ参加し、図書館司書としての能力、技術等 の研鑽に努める。
53	市立図書館	子ども向け図書の買い換え、資料等 の充実	【長野図書館】 ・児童書受入：3,393冊 【南部図書館】 ・児童書受入状況：4,672冊	【長野・南部図書館】 ・良書、名作の整備を目的として、子ども向け図書の計画的な購入や買い 換えを実施する。	【長野・南部図書館】 ・今後も子ども向け図書の計画的な購入や買い換えを実施する。
54	市立図書館	利用者のリクエストへの対応	【長野図書館】 ・図書のリクエストについて、主に新刊図書の 選書・購入を通して適切に対応している。 【南部図書館】 ・図書のリクエストについて、主に新刊図書の 選書・購入を通して適切に対応している。	【長野図書館】 ・利用者や読み聞かせボランティアからリクエストを受け、資料収集方針に 基づき選書、購入している。 ・当館では児童書リクエストについて、選書基準に適合しているものは全て 購入している。 ・購入できなかった図書は他市町村より借り受ける。 【南部図書館】 ・子ども、保護者及び読み聞かせボランティア等からのリクエストを受け 付け、資料収集方針に基づき利用者のニーズを考慮しながら選書・購入 をしている。 ・所蔵しない資料については相互貸借により他市町村の図書館から借受を している。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 【南部図書館】 ・利用者のニーズによるリクエストへの対応の増加を図るため、ホーム ページ等によるリクエスト制度の広報・周知活動の実施を検討する。
55	市立図書館	調べ学習に役立つパスファインダー の作成・充実	【長野図書館】 ・ホームページバスファインダー 本の探し方 1項目 入門編 1項目 夏休み編 31項目 【南部図書館】 実施していない	【長野図書館】 ・夏休み前には研究や学習に役立つ子ども向けパスファインダーを図書館 ホームページに掲載。情報が古くなったものについては改訂を行って いる。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 【南部図書館】 ・当面、実施の予定はないが、改策の議論の中で、調べ学習に役立つ パスファインダーの作成・充実に配慮する。
56	市立図書館	ふるさとや世界各国の文化等を 理解するためのテーマ本の選定・ コーナーの設置	【長野図書館】 ・子ども向けテーマの一部として実施 R6.10おやつ R7.1日本ってどんな国？ R7.2がっこう！ 【南部図書館】 ・毎月テーマを決め「成人向け」「児童向け」本の 紹介をしている。	【長野図書館】 ・毎月「一般向け」「児童向け」及び「青少年向け」「高齢者向け」用を交互に テーマ本の紹介をしている。 【南部図書館】 ・当該テーマに特化した取り組みは実施していない。	【長野図書館】 ・今後も事業を継続する。 【南部図書館】 ・今後、テーマ本の選定・特設コーナーの設置等について実施を検討 する。
57	市立図書館	学校と図書館の協力体制の強化	【長野図書館】 ・小中学校への団体貸出、図書の置き置き及び 中山間地学校への市道線車を活用した図書の 貸出の実施。 【南部図書館】 ・小学校図書館に団体貸出を行った。 14校778冊	【長野図書館】 ・学校司書等からの依頼によるレファレンスサービス等、個別の相談に対応 している。	【長野図書館】 ・団体利用している学校に偏りがあるため周知に努める。 ・教員や学校司書からの個別相談には、その都度必要な支援を行う。 ・今後も継続的に協議を行い、協力体制の整備について更なる検討をして いく。
58	家庭・地域学びの課 (公民館・交流センター)	公民館講座等における読み 聞かせ等の実施	・公民館講座等において読み聞かせ等を実施 した公民館・交流センターは22館 講座数等：34 実施回数：170回 参加者延べ人数：2371人	・公民館主催の講座に合わせ、絵本・大型絵本・仕掛け絵本・紙芝居などの 読み聞かせを行っている参加された保護者の方に好評をいただいで いる。 ・地区内で対象となる乳幼児の数が減少している。 ・実施スペースに限りがあるため人数が増えるようだと再検討が必要。	・公民館利用団体や子育てサークルなどと連携して今後も親子で絵本に 触れる機会を作っていく。 ・今後参加者数が減少するようであれば、対象者を変えるなど講座の維持 発展ができるように内容や実施方法を検討し引き続き実施していく。 ・リピーター獲得のために広報の方法の工夫を検討していく。

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和7年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和6年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
59	家庭・地域学びの課 (公民館・交流センター) 市立図書館	図書館分室の整備及び利用促進	【公民館・交流センター】 ・22の公民館・交流センターにおいて、公民館報、交流センターだより、図書だより、ホームページ等で分室の紹介等を行った。 【南部図書館】 ・児童書貸出冊数(分室):22,940冊	【公民館・交流センター】 ・公民館報・交流センターだよりやホームページ等に分室や新規に配本された本の紹介記事を掲載し、分室利用促進のための取組を行っているが、公民館報・交流センターだよりに至っては紙面も限られており、十分な内容が記載できない。 ・図書室のレイアウト変更や、サークルで作成した折り紙のプレゼントなど、小さな子どもが足を運びやすくなるよう工夫している。 【南部図書館】 ・新刊本を分室に随時配本し、児童書の充実を図るとともに、分室からのリクエスト(予約)による配本、分室での「おはなし会」で用いる本の選書を行っている。	【公民館・交流センター】 ・公民館報、交流センターだより等による図書館分室の広報・周知活動を継続して利用の呼びかけをしていく。 ・図書室のスペースを活用して利用者がくつろいで本を借りられる環境を整える。 【南部図書館】 ・子ども向け図書館の案内記事の掲載等、子どもの分室利用促進するための取組を検討する。
60	家庭・地域学びの課 (公民館・交流センター) 市立図書館	図書館分室において、季節や年中行事を意識した絵本の紹介やお薦め本等の展示を行った	・21の公民館・交流センターにおいて、季節や年中行事を意識した絵本の紹介やお薦め本等の展示を行った。 ・分室職員が企画して、おすすめ本の展示等を行っている。	【公民館・交流センター】 ・季節やテーマに合わせてお薦め本の展示するなどの工夫を行っている。 ・蔵書数や展示スペースに限りがあり、展示場所の確保が難しい分室もある。 【南部図書館】 ・全ての分室において統一の実施することは困難。	【公民館・交流センター】 ・引き続き各分室の状況に合わせ、季節や年中行事を意識したお薦め本の展示を行い、新たな本との出会いの機会を提示する。 【南部図書館】 ・できるだけ多くの分室で実施できるようバックアップ体制の構築に努める。
61	家庭・地域学びの課 (公民館・交流センター) 市立図書館	ふるさとや世界各国の文化等を理解するためのテーマ本の選定・コーナーの設置	・15の図書館分室において、郷土の食べ物やその地の歴史に関する図書コーナーを設けた。	・寄贈本を有効活用して地域の歴史について紹介するなど工夫している。 ・選書数やスペースが限られており、テーマ本の選定やコーナーの設置が困難な分室もある。 ・郷土を知るコーナーは常設しているが、地域や郷土の本は、新刊の配本が無いためいつも同じ本しかない。	・各分室の状況に合わせ、ふるさとや世界各国の文化等に興味がわく、テーマ本の選定・コーナーの設置について検討する。 ・日々アンテナを張り、話題のもの等にスポットをあてたコーナーを作っていく。
62	家庭・地域学びの課 (公民館・交流センター)	子育てサークルや子ども読書活動を行うグループへの学習室等の貸出し	・16公民館・交流センターで49団体が登録・活動(令和6年度末現在)している。	・子育てサークルや読み聞かせ団体、子どもの読書活動を行うグループへの学習室の貸出しを行っている。 ・乳幼児が利用できる部屋(和室等)や駐車場数等、施設面での制約がある。 ・館によっては、利用団体に子ども読書活動を行うグループがない。	・各分室の状況に合わせ、引き続き子育てサークルや読み聞かせ団体、子ども読書活動を行うグループへの学習室貸出しを行っていくと共に、公民館・交流センターの子育て講座終了後の自主的な学習グループ化を支援していく。
【施策5】子どもを取り巻く環境としての新たな読書活動の推進					
63	家庭・地域学びの課 市立図書館	家族の関わりを促進するための啓発活動の実施	【家庭・地域学びの課】 ・事業番号51に同じ 【長野図書館】 ・事業番号341に同じ 【南部図書館】 ・おはなし会:47回、親子660人 ・こども会:3回、親子396人	【家庭・地域学びの課】 ・事業番号51に同じ 【長野図書館】 ・おはなし会、お楽しみ会等を通じて、家庭での子どもへの読み聞かせや、本や人とふれあうことの重要性を啓発している。 【南部図書館】 ・「おはなし会」や「お楽しみ会」の実施のほか、「親子わくわくフェスタ」で配布するブックリスト作成に協力し、親子が触れ合う機会の提供を通じて、読書の楽しさや重要性を伝えている。	・現在の取組を継続して実施する。 【南部図書館】 ・有線放送でのテーマ本紹介に「家族」をテーマに取り上げたり、「家族関係」のテーマ本コーナーを設けるなど「家族の関わりを促進するための啓発活動」のありようを検討し、実施を図る。 ・「あかちゃんのおはなし会」において、NPO、合同会社等と連携し、おひさで絵本事業とタイアップした「家族の関わりを促進するための啓発活動」の推進を検討していく。
64	家庭・地域学びの課	【再掲】長野市家庭の日における読書の奨励			
65	市立図書館 学校教育課	保護者と子どもが読書に親しむ機会の提供	【学校教育課】 小学校 67.3% 中学校 31.8% 【長野図書館】 ・事業番号42に同じ 【南部図書館】 実施していない	【学校教育課】 ・毎月図書館だよりを発行し、保護者にも学校図書館にどんな本があるか紹介している。 ・学校公開日の折に、図書館を開放したり、保護者への本の貸し出しをしている。 ・長期休み中に貸出冊数を増やし家庭でも読書に親しむようになっている。 ・旬間では親子カードを配布し、子どもと一緒に親しんでもらう。 ・親子読書への取り組みとして、読書カードを活用しているが家庭により差がある。 【長野図書館】 ・事業番号42に同じ	【学校教育課】 ・保護者に対して、家庭での読書の必要性と読書推進の呼びかけを行っていく。 ・読書旬間等の機会に親子読書カード等を実施していきたい。 ・図書館だより等で、子どもの読書の様子を伝えることを継続しつつ、親子読書の機会を検討していく。 ・図書館開放、保護者への貸出し、図書館便りの発行を続けていく。 【長野図書館】 ・事業番号42に同じ
66	市立図書館	図書館における企画展示等の実施	【長野図書館】 ・テーマ本展示 一般向け:「脳の世界」ほか10回 児童向け:「夜の世界」ほか9回 青少年向け:「新生活に向けて自分みがき」ほか2回 高齢者向け:「ゆる体操」ほか1回 随時テーマ:「手話」ほか3回 【南部図書館】 ・「テーマ本」の展示には、成人向けテーマと児童向け(親子で本に親しむ内容)のテーマを必ず分け、親子で本を読んだり、一緒に考えられる本なども展示している。	【長野図書館】 ・毎月テーマを決めてテーマに沿った本を集め、テーマ本コーナーを作っている。 ・「ジェンダー」や「空家対策」など他課や外部の団体とも連携しながら随時テーマ本コーナーでの展示も行っている。 【南部図書館】 ・児童向けテーマ本として、引き続き親子で親しめる本の展示を行っていく。	【長野図書館】 ・今後も図書館の展示のみならず、利用者の興味を惹く企画展について検討していく。 【南部図書館】 ・引き続き親子で親しめるテーマ本の展示を行っていく。
67	家庭・地域学びの課	図書館分館における企画展示等の実施	【公民館・交流センター】 ・14の図書館分館において、企画展示等を実施	・月間に合わせた本の紹介や、子供たち向けの企画、年間の貸出図書ランキングの作成等、各施設で工夫して興味を引く企画展示等を行っている。	・引き続き各館の状況に合わせて、図書館分室における企画展示を検討していく。
68	家庭・地域学びの課 市立図書館	おとな向けブックリストの作成とCTを活用した周知	【家庭・地域学びの課】 実施していない 【長野図書館】 ・館報「魯桃桜」で新刊の紹介 ・ホームページで新刊やテーマ本の紹介 【南部図書館】 ・毎月発行の図書館だより「ハートフルなんぶ」内で新刊本を紹介している。また、月のテーマ本についても紹介記事を掲載し、利用者に広く興味を持ってもらえるよう努めている。 ・ホームページにもテーマ本のリストを掲載。	【長野図書館】 ・毎月発行の館報「魯桃桜」紙上で新刊紹介している。また、月のテーマ本についても紹介記事を掲載し、利用者に広く興味を持ってもらえるよう努めている。ホームページにもテーマ本のリストを掲載。 【南部図書館】 ・図書館だより「ハートフルなんぶ」とは別に、こども向け図書館だより「おひさま」も毎月発行している。	【長野・南部図書館】 ・今後も事業を継続する。
69	市立図書館	おとなが読書に親しむきっかけとして朗読CDの周知と貸出	【長野図書館】 ・文学CD(カセット含む)の貸出し:1,789枚 ・館報「魯桃桜」12月号のトップ記事において、オーディオブックの紹介をした。	【長野図書館】 ・音楽CDほど周知されていないが、一定程度の貸出がある。	【長野図書館】 ・館報「魯桃桜」のトップ記事等で周知を図っていく。
70	市立図書館	おとなのためのおはなし会など、おとな向けの読書推進イベントの実施	【長野図書館】 ・大人のためのお話し会:2回、参加者59人 【南部図書館】 実施していない	【長野図書館】 ・ボランティアの協力を得て令和3年度から大人が楽しめる絵本のお話し会を実施している。 【南部図書館】 ・まだ登録を希望する学校が少ない。	【長野図書館】 ・絵本の読み聞かせだけでなく、素語りなど様々な大人のためのお話し会を実施していく。 【南部図書館】 ・引き続き、学校教育課と連携し進めていく。
【施策6】電子図書の導入と読書・リテラシー法に基づく読書環境整備の推進					
71	市立図書館	図書館におけるアクセシブルな児童書の充実	【長野図書館】 ・事業番号44に同じ 【南部図書館】 ・点字の児童書について、手の取りやすいところにもまとめて配架している。	【長野図書館】 ・事業番号44に同じ 【南部図書館】 ・「りんごの棚(LLブック)」を設置し、探しやすいよう工夫した。 ・あった君等で配架場所を探索できるようにしている。	【長野図書館】 ・事業番号44に同じ 【南部図書館】 ・LLブック(類した本も含めた)などのアクセシブルな図書のリストを更新しながら、必要とする利用者に配布できるようにする。
72	市立図書館	電子図書等の周知と利用促進	【長野図書館】 ・長野県が主体となり、県内全ての市町村が参加する電子図書館「デジとし信州」を運営。 ・長野市民登録者数:5,116人 ・貸出数:27,948点 【南部図書館】 ・館内掲示や利用案内、ホームページ等により電子図書館等の利用について周知している。	【長野図書館】 ・ポスター、ホームページ、新規登録者へのチラシの配布等により周知を図る。 【南部図書館】 ・館内掲示や利用案内、ホームページ等により電子図書館について周知を行っている。	【長野図書館】 ・今後も広報を継続する。 【南部図書館】 ・館内掲示や利用案内、ホームページ等により電子図書館について、更に周知を行っていく。
73	学校教育課 市立図書館	一人一台端末を活用した電子図書の利用推進	【学校教育課】 ・利用実施校 小学校2校 中学校0校 【長野図書館】 ・小学校2校、2学年「デジとし信州」登録 【南部図書館】 ・学校からの申し出により、学校・学年全体で利用登録等個別に行っている。	【学校教育課】 ・学校における電子図書の活用については、市立図書館と検討中。ニーズのあるところから利用申請を行っているが、受け入れ体制も十分でないことから、現状では少数に留まっている。 【長野図書館】 ・まだ登録を希望する学校が少ない。 【南部図書館】 ・電子図書の利用制限が大きく、学校での利用にはなかなか結びつかない。 ・登録した児童が卒業や転校で転出した際に、図書館で把握ができず、削除漏れが発生してしまう。	【学校教育課】 ・市立図書館と連携し、より一層の利用促進を図っていく。 【南部図書館】 ・引き続き、学校教育課と連携し進めていく。
74	学校教育課 市立図書館	子どもにとって使いやすく、コンテンツの充実した電子図書の研究	【学校教育課】 ・学校における電子図書の活用について、市立図書館と検討中 【長野・南部図書館】 ・県と市町村が協議し「選書委員会」を開催し選書を行っている。	【長野・南部図書館】 ・「選書委員会」において、必要な図書について提案を行っている。	【学校教育課】 ・市立図書館と連携し、子どもにとって使いやすく、コンテンツの充実した電子図書の研究を継続的に進めていく。 【長野・南部図書館】 ・「選書委員会」において、必要な図書について引き続き提案を行う。
75	市立図書館	【再掲】点字図書・録音図書製作ボランティアの人材育成及び質の向上			

第四次長野市子ども読書活動推進計画 進捗状況調査票【具体的な取組の実施状況】

令和7年3月末現在

事業番号	担当所属	事業・取組等	令和6年度末現在 実施状況	現況・課題	今後の方向性
76	小中学校 学校教育課	〔再掲〕特別な支援を必要とする子どもが利用しやすい学校図書づくり			
77	小中学校 学校教育課	〔再掲〕特別な支援を必要とする子どもを対象とした学校図書館の利用促進			
78	小中学校 学校教育課	〔再掲〕特別な支援を必要とする子どもの特性に応じた読書媒体の紹介や利用支援			
79	小中学校 学校教育課	〔再掲〕司書および司書教諭を対象とした図書館における障害者サービスに関する内容理解や支援方法の習得に関する研修の実施			
80	市立図書館	〔再掲〕障害者ライブラリー（点字図書・録音図書の収集・製作・貸出し）の充実			
81	市立図書館	〔再掲〕アクセシブルな図書等の導入			
82	市立図書館	〔再掲〕特別な支援を必要とする子どもを対象とした市立図書館の利用促進			
83	市立図書館	〔再掲〕特別な支援を必要とする子どもを対象としたアクセシブルな図書等の利用支援			
84	市立図書館	〔再掲〕国立国会図書館およびサビュ図書館サービスの周知や利用促進			
85	市立図書館	〔再掲〕特別な支援を必要とする子どもが利用しやすい図書の製作に係る基準の作成及び環境の整備			
86	市立図書館	〔再掲〕特別な支援を必要とする子どもの特性に応じた読書媒体の紹介や利用支援			
87	市立図書館	〔再掲〕点字図書・録音図書製作ボランティアの人材育成及び資質の向上			
88	市立図書館	〔再掲〕図書館における障害者サービスに関する内容理解や支援方法の習得に関する研修の実施及び広報活動の充実			
89	障害福祉課	アクセシブルな電子図書等を利用するための端末機器等の給付	〔支給件数〕 ・視覚障害者用ポータブルレコーダー：9件 視覚障害者用読書器：11件 ※18歳未満の方の申請はいずれも0件	・視覚障害者用読書器は盲学校でも利用されている。家庭では視覚障害者用の機器を使用しなくても、個人の状態や希望に応じて、読み聞かせや、一般的なDVD等の音声を利用するなどの方法で情報を得ていると考えられる。	・引き続き障害福祉サービスガイド、市ホームページで制度の周知を行い、給付対象となる方からの申請があった場合には支給をしていく。
【施策7】関係機関の連携と普及啓発の推進					
90	家庭・地域学びの課 市立図書館 学校教育課	市内関係機関の連携	〔学校教育課〕 ・市立図書館と学校図書館がどのような連携ができるのかを検討中 〔長野図書館〕 ・事業番号20に同じ 〔南部図書館 家庭・地域学びの課〕 実施していない	〔学校教育課〕 ・学校図書館にない資料等について、団体貸し出し等を利用している。 ・読書旬間中に公立図書館で行っているイベントなどを参考に行っている。 〔長野図書館〕 ・事業番号20に同じ	〔学校教育課〕 ・市主催や支会研修などに市立図書館の職員の出席を依頼するなど、どのような連携ができるのかを検討していく。 〔長野図書館〕 ・事業番号20に同じ
91	市立図書館	リサイクル図書の有効活用	〔長野図書館〕 ・全庁向け事前配布を実施 ・利用者向けリサイクル市の開催:327人 〔南部図書館〕 ・「南部図書館まつり」の際にリサイクル本の配布を行った。	〔長野図書館〕 ・R5年度から「除籍本等リサイクル市」に先立ち、全庁向けに公用・公共用に使用する本の配布を実施した。 〔南部図書館〕 ・南部図書館で不要となった本をリサイクル本として児童館、学校、公民館、保育園等、市の施設及び関係施設を中心に配付することにより、市全体での図書の充実(有効活用)を図っている。	〔長野図書館〕 ・今後も「リサイクル市」及び、事前配布を実施していく。 〔南部図書館〕 ・今後も事業を継続する。 ・小学生対象のリサイクル図書が出た場合は、児童館、学校、公民館、保育園等市の施設及び関係施設へ積極的に配布していく。
92	市立図書館 学校教育課 小中学校	児童・生徒の図書館見学・体験の実施	〔学校教育課〕 ・公立図書館・地域や教科の学習、社会見学、遠足行事として実施。 〔長野図書館〕 ・職場体験：中学生6校・15人 ・見学：小学校3校・117人 〔南部図書館〕 ・南部図書館：中学校3校7人、高校2校2人、小学校教員1校1人	〔学校教育課〕 ・学校から公立図書館まで遠距離であり、交通手段の確保が難しいため、社会見学等でも入れにくい。 〔長野図書館〕 ・図書館をより身近に感じてもらえるように、希望に応じて積極的に受け入れている。 〔南部図書館〕 ・児童についての図書館見学・体験等は実施していない。	〔学校教育課〕 ・児童の公共図書館の将来的な利用を見据え、学校図書館とは違った設置意義を知るために、公共図書館の見学・体験ができるよう検討していく。 〔長野図書館〕 ・今後も実施していく。 〔南部図書館〕 ・篠ノ井地区の小学校等と連携し、図書館見学の実施を検討していく。
93	市立図書館 学校教育課 小中学校	学校図書館に関する相談体制の整備	〔学校教育課〕 ・市主催、支会研修等において他校の学校司書と連携の機会を持つことができた。 〔長野図書館〕 ・相談件数 2件 〔南部図書館〕 ・市立図書館で対応できることは限定的ではあるが、対応できるものについては、実施している。	〔学校教育課〕 ・支会研修等を通して学校司書がどのような支援を必要としているか伝えることができた。 ・市立図書館の相談窓口となる担当者が明確であると学校司書が相談しやすい。 〔長野図書館〕 ・事業番号57に同じ	〔学校教育課〕 ・今後も市立図書館と連携し、様々な情報を発信していく。 ・学校司書が抱えている疑問や課題等を共有できる体制を維持していく。 〔長野図書館〕 ・事業番号57に同じ
94	市立図書館	読み聞かせボランティア等養成講座の開催	〔長野図書館〕 ・「読み聞かせ講座」 初心者講座 18人受講 中級講座 16人受講	〔長野図書館〕 ・読み聞かせボランティア育成のため、「読み聞かせ講座」を実施し、新たに1つの読み聞かせグループができて令和7年度のお話を担当している。 〔南部図書館〕 ・「読み聞かせ初心者講座」として、「読み聞かせ入門コース(読み聞かせの基礎の習得)」と「読み聞かせボランティア入門コース(ボランティア活動の基礎知識・技術の習得)」を実施。参加者で新たにおはなしボランティアが誕生し、R7年度から実践する予定。 ・ボランティア団体等が読み聞かせ活動するための困りごとなどについて司書が相談に応じている。	〔長野図書館〕 ・今後も事業を継続し新たなボランティアの育成を図る。 〔南部図書館〕 ・受講者の増加を図るため、各種メディア、SNSを活用した講座開催情報の配信の拡大を検討する。
95	家庭・地域学びの課 市立図書館	出版社や書店などの企業との連携・協力によるイベントや読書に親しむ企画等の実施	〔長野図書館〕 ・出版社の許可を得て絵本を拡大・映写し、生の演奏を加えた「大人のためのお話を」を実施 〔南部図書館 家庭・地域学びの課〕 実施していない	〔長野図書館〕 ・出版社から著作権の許可を得て、普段のおはなし会とは違うイベントを実施している。	〔長野図書館〕 ・文科省から公開された「図書館・書店等の連携事例集(令和6年6月)」などを参考に企画を検討していく。
96	家庭・地域学びの課	ICTを活用した子ども読書活動の啓発	・ホームページ及び長野市子育て応援アプリ「すくすくナビ」、市の公式LINEを利用しておひざで絵本事業を紹介を行った。	・様々な広報媒体で子ども読書活動の情報発信をしている	・配信内容を検討しながら、今後も取組を継続する。
97	家庭・地域学びの課	長野市子ども読書デーの周知と啓発活動の実施	・長野市子ども読書デー関連イベントを、親子わくわくフェスタにおいて開催した。 ・広報及び市政ラジオ、行政情報等モニターによる啓発活動を行った。	・「親子わくわくフェスタ」に合わせ、長野市子ども読書デー関連イベントを企画・実施している。	・市民のニーズに合致し、かつ、読書の楽しさを伝える取り組みとして効果的なイベントを検討し、引き続き実施する。 ・子ども読書デーの啓発や関連イベントの周知を積極的に行っていく。
98	家庭・地域学びの課 市立図書館	「こどもの読書週間」における啓発活動の実施	〔家庭・地域学びの課〕 ・啓発用ポスターを小・中学校、公民館、保育園等へ配布した。 〔長野図書館〕 ・子ども向けおすすめの本紹介冊子「すてきな大人になれる本」作成、配布 ・なのはなお楽しみ会(パネルシアター、大型絵本、紙芝居)の開催 ・手作りしりの配布 〔南部図書館〕 ・たんぽぽこども会(5/12)	〔長野図書館〕 ・読書週間に合わせておすすめの本紹介冊子を毎年2回作成し配布している。 ・こどもの読書週間に「なのはなお楽しみ会」開催。 ・毎年、期間中に手作りのおりなどを用意してカウンターで配布。 〔南部図書館〕 ・子ども読書週間(子ども読書の日)事業として、毎年、5月上旬に「たんぽぽこども会」を開催し、「こどもの読書週間」の啓発用ポスターの掲示と共に、子どもの読書の啓発活動と読書活動の推進を図っている。	・今後も事業を継続し、本や図書館をより身近に感じてもらおう努める。 〔南部図書館〕 ・イベント参加者の増加を図るため、ホームページ、広報紙等以外にも、SNS、スマートフォンアプリ、Webサイト、フリーメール、行政情報モタなどの各種メディアを活用したイベント開催情報の発信の拡大を実施する。
99	家庭・地域学びの課	読書活動推進イメージキャラクターの活用	・ホームページ、ブックリスト等に掲載している。 ・BOOKロウのしおりを作成し、長野市子ども読書デー関連イベントで配布した。	・ホームページやブックリスト等において、積極的にキャラクターを使用し周知を図っている。	・引き続き従来の方法による啓発活動を実施するとともに、キャラクターの新たな使用方法を検討する。